

全国農業共済組合連合会
御提供資料

「未来へつなぐ」 サポート運動

資料7

運動の目標

安心をすべての農家に届けよう

▶収入保険の加入目標◀

加入資格を有する経営体の概ね半数

運動期間

令和5年4月からの5年間

行動スローガン

より身近に、より丁寧に、農家のもとへ

運動の趣旨

NOSA I 団体は、農業保険の加入推進に組織を挙げて取り組み、農業保険全体として見ると、令和3年度の収入保険の加入経営体の基準収入金額は1兆3千億円を超え、畜産を除く我が国の耕種農業の産出額5兆9千億円の22%をカバーしており、これに、農作・畑作・果樹等の収穫共済を加えると、カバー率は47%になる。このように農業保険は、農業経営の安定のみならず農業生産力の発展、更には地域経済の活力維持に貢献し、農業・農村の基本的なインフラとしての役割を果たしている。

NOSA I 団体は、多様な動きが進む各地域の特性を踏まえた加入推進を通じて、農業経営の基幹的なセーフティネットとしての農業保険を、農業の生産現場により深く浸透し、全ての農業者に提供するため、組織を挙げて取り組む。

NOSA Iの対応方向

- 耕種農業については、農業保険を全国各地で推進し、農業の生産現場に深く浸透させ、農業保険の役割やカバー率を制度発足時の水準に向上させることを目指す。
- 特に、収入保険については、新たな加入目標の達成を期す。
- 農業共済では、家畜、園芸施設、樹体、建物、農機具等、農業資産及び生活資産についても引き続き着実な加入推進等に取り組む。
- その際には、次の「総合性」及び「地域性」に立脚した推進を展開する。

①農業保険の「総合性」の発揮

収入保険は、青色申告者を対象として幅広いリスクを補填し、農業共済は、白色申告者も含め、全ての農業者を対象として収穫を補償するとともに、農業資産及び生活資産について、家畜共済及び園芸施設共済並びに任意共済により補償する。

このような農業者の事業及び生活を総合的に補償する農業保険を、その総合性に着目して、各々の農業者の経営状況等を踏まえた最適なセーフティネットとして提供していくことが重要。

②農業・農村の「地域性」を踏まえた事業運営

都道府県間だけでなく同一都道府県内でも農業・農村の状況は様々であり、地域間の差異は一層大きくなっていることから、地域における農業者の営農形態等地域の実情を踏まえた積極的かつ主体的な加入推進の姿勢を明確にすることが必要。

運動の推進課題 運動目標を達成するため4つの全国統一課題

課題1 総合性・地域性を踏まえた農業保険の加入推進

課題2 人材育成と役職員の資質向上

課題3 事業運営基盤の強化

課題4 広報・広聴活動の強化